



第7号 令和7年12月24日

北野だより

～雨の降る日も風の日も 心に太陽 知をみがく～

「自らの未来を拓く心豊かで自立した生徒の育成」

京都市立北野中学校 校長 立垣 典子

『楽しい』よりも『正しい』で行動を

～12月は人権月間です。～

あと数日で今年も終わりを迎えようとしています。年の変わり目というのはひとつの節目となります。また本日は2学期を終えようとしています。そういった節目ごとに、「自分にはどんな力がついたか、どんな姿勢が身についたか」と振り返ることは大切です。折に触れ、「自分で自分を育てなさい」と言ってきました。どうですか、自分はどんなところが成長しましたか。

2学期は、学習や取組の成果を発信する機会がいくつもありました。時には、他者と協働しながら、時には自分自身と対話しながら進めてきたそれぞれの成果がありました。学校祭での3年生は、3年生らしい素敵な姿を、秋の大会や学年での2年生なりの頑張りに、そして中学校での初めての取組に素直に取り組もうとする1年生の姿に、「確実に成長しているな」と思います。しんどいこと、面倒なことの先に成長があります。しんどいことから逃げなかった分、成長したと言えると思います。

大リーグで奮闘する大谷選手は、今年も目覚ましい活躍をしていますね。彼のプレーの素晴らしさというまでもなく、その人柄・考え方に感心させられるという声が多くあります。

彼は、高校のときの監督から教えられたことを今も心にとめて実践しているといえます。その教えとは、「楽しいよりも正しいで行動しなさい」というもの。

自身の成長のためには、「何が正しいか」と自問して、「楽しいこと」をやろうとする自分を律する。それが大谷選手の生き方の基本となっているということです。

どうですか、「楽しいことよりも正しいこと」を選んでいますか。

人は誰でも弱い心をもっています。わかっているのに、「楽しい」ことへ流れていく自分がいます。だからこそ、私たちは学ばなければならないのだと思います。

この節目の時期に自身を振り返り、少しでも良い方向に向けていけるよう、謙虚で素直な気持ちで、年末をすごしてってください。

北中生にとって、家庭や地域において、普段は経験できない環境や体験などを通して充実した冬休みにしてくれることを願っています。とりわけ3年生にとっては、この冬は、「冬休み」ならぬ、「冬学期」として悔いのない取組が積み重ねられるよう頑張ってください。

皆さんが健康的に過ごし、1月7日に元気な姿を見せてくれるのを楽しみにしています。